

調査票 (調査事項のみ収録)

貯蓄に関する世論調査(昭和59年)

問1 お宅では現在、つきのうちどのような貯蓄をお持ちですか。お持ちの貯蓄種類の番号にいくつでも印をつけてください(なお、ここでの貯蓄は家計上の貯蓄だけで、営業・営業上の貯蓄は含めなくてください。また財形貯蓄および国債組合せ商品は1~16に記入することなく、それぞれ17および18に記入してください)

- 1 郵便貯金
2 銀行預金・積金
3 相互銀行預金・積金・掛金
4 信用金庫預金・積金
5 信用組合預金・積金
6 農協・漁協貯金・積金
7 職場貯金(社内預金)
8 労働金庫等その他預貯金
9 金銭信託・貸付信託(ヒックを含む)
10 生命保険・簡易保険や長期損害保険(ただし定期生命保険や、知期の自動車・火災保険のような掛け捨ての保険は除く)
11 郵便年金・個人年金信託・年金保険(厚生年金・国民年金・公務員共済などの公的年金は除く)
12 国債・地方債(都道府県市債等)
13 割引金庫債・利付金庫債(ワイドを含む)
14 社債(転換社債を含む)、公社・公団・公庫債等その他債券
15 株式(従業員持株制度による株式を含む)
16 投資信託(ジャンボ、中期国債ファンド、利金ファンドを含む)
17 財形貯蓄(財形年金貯蓄を含む)
18 国債組合せ商品(国債定期口座など)
19 その他(具体的に記入してください)

20 貯蓄を持っていない(貯蓄をお持ちでない方は問9へ進んでください)

問2 だいたいどのくらいでけこうですが、いまお宅でお持ちの貯蓄の残高をつきのように分けてお答えください(ここでの貯蓄は家計上の貯蓄だけで営業・営業上の貯蓄は含めなくてください。また財形貯蓄額および国債組合せ商品の額は1~7に記入することなく、それぞれ8および9に記入してください)

預貯金の額は(問1の1~8の合計額)

万円

うち、定期預金、定期積金、定額貯金、振替貯金など定期性預貯金の額は

万円

2 貸付信託・金銭信託の額は

万円

3 今までに払込んだ生命保険・簡易保険や長期損害保険の保険料の合計額は(ただし掛け捨ての保険は除く)

万円

4 今までに積立てた郵便年金・個人年金信託・年金保険の積金の合計額は(厚生年金・国民年金・公務員共済など、公的年金の積金は除く)

万円

5 債券の額は(問1の12・14の合計額を時価(今の相場)で、ご不明なら額面でお答えください)

万円

6 株式の額は(時価(今の相場)でお答えください)

万円

7 投資信託の額は(時価(今の相場)で、ご不明なら額面でお答えください)

万円

8 財形貯蓄の額は

万円

9 国債組合せ商品の額は

万円

以上の1~9を合計した貯蓄の総額は

万円

問3 お宅でこの1年間に貯蓄された額はボーナスなど臨時収入を含む1年間の手取り(税引後)収入のうちどのくらいの割合にあたるでしょうか(ここでの貯蓄額には給与振込に伴う一時的なものは含めなくてください)

%くらい

例えば、年間の手取額が100万円で、そのうち12万円を貯蓄した場合は、12%12万5千円を貯蓄した場合は、12.5%のように記入してください(1%未満は四捨五入)

問4 お宅では、ボーナスなど臨時収入があったときは、それかどのくらいの割合を貯蓄にふりまけていますか(ここでの貯蓄額には給与振込に伴う一時的なものは含めなくてください)

%くらい

例えば、10万円のボーナスや臨時収入で、そのうち3万円を貯蓄した場合には、30%と記入してください。なおボーナスや臨時収入がない場合は0%と記入してください。

- 問5 お宅では貯蓄するためにどのように心がけていますか。つきにあげてあるものから2つまで選んで○印をつけてください。1つでもかまいません。
- 1 無駄をはぶいたり、節約したりしている
  - 2 ともかくきまった額を天引きして貯蓄にふりむけている
  - 3 ボーナスや臨時収入はできるだけ貯蓄にふりむけるようにしている
  - 4 副業や内職あるいはアルバイトで収入をふやして貯蓄するようにしている
  - 5 その他、具体的に記入ください

問6 過去1年間の収入(ボーナスなどを含む)からの貯蓄について、つぎのうちあてはまるものに○印をつけてください。この1年間はそれ以前に比べ……

- 1 貯蓄する額をふやした
- 2 とくに変わらない
- 3 貯蓄する額をへらした

問6-1 その理由としてつぎのなかから2つまで選んで○印をつけてください。

- 1 収入がふえたため
- 2 こどもの卒業などにより生活費に余裕ができたため
- 3 老後の生活に必要な額がふえると思われるため
- 4 土地の取得、建物の新増改築等に必要額がふえると思われるため
- 5 こどもの教育に必要な額がふえると思われるため
- 6 こどもの結婚に必要な額がふえると思われるため
- 7 物価の上昇や預貯金の目減りなどから今後の生活が不安であるため
- 8 将来の生活をもっと充実させるため
- 9 その他、具体的に記入ください

問6-2 その理由としてつぎのなかから2つまで選んで○印をつけてください。

- 1 収入がへったため
- 2 こどもの進学などにより生活費がふえたため
- 3 住宅ローンなどの借入金の返済があるため
- 4 物価が上昇して生活が苦しくなったため
- 5 毎日の生活をもっと充実させるため
- 6 預貯金の目減りを見ると、貯蓄をしてもあまり意味がないため
- 7 その他、具体的に記入ください

問7 お宅の今後1年間の収入(ボーナスなどを含む)からの貯蓄について、つぎのうちあてはまるものに○印をつけてください。今後1年間は過去1年間に比べ……

- 1 貯蓄する額をふやしたい
- 2 とくに変わらない
- 3 貯蓄する額をへらしたい

問7-1 その理由としてつぎのなかから2つまで選んで○印をつけてください。

- 1 収入がふえると予想されるため
- 2 こどもの卒業などにより生活費に余裕ができたため
- 3 老後の生活に必要な額がふえると思われるため
- 4 土地の取得、建物の新増改築等に必要額がふえると思われるため
- 5 こどもの教育に必要な額がふえると思われるため
- 6 こどもの結婚に必要な額がふえると思われるため
- 7 物価の上昇や預貯金の目減りなどから今後の生活が不安であるため
- 8 将来の生活をもっと充実させるため
- 9 その他、具体的に記入ください

問7-2 その理由としてつぎのなかから2つまで選んで○印をつけてください。

- 1 収入がへりそうなるため
- 2 こどもの進学などにより生活費がふえるため
- 3 住宅ローンなどの借入金の返済があるため
- 4 物価が上昇して生活が苦しくなりそうなるため
- 5 毎日の生活をもっと充実させるため
- 6 預貯金の目減りを見ると、貯蓄をしてもあまり意味がないため
- 7 その他、具体的に記入ください

問8 お宅で貯蓄をされている目的はいろいろありますが、つきにあげてあるものの中からその目的を3つまで選んで○印をつけてください。また、そのうち当面もっとも重点をおいているもの1つに◎印をつけてください。

- 1 病気や不時の災害の備えとして
- 2 こどもの教育費にあてるため
- 3 こどもの結婚資金にあてるため
- 4 土地・建物の買入れや、新増改築・修理のため
- 5 老後の生活のため
- 6 自動車・家具などまとまった金額の物品を購入するため
- 7 旅行など余暇を楽しむため
- 8 納税のため
- 9 とくに目的はないが貯蓄していれば安心だから
- 10 その他、具体的に記入ください

以下は全部の方がお答えください

問9 貯蓄することについて、いろいろな考えがあります。ここにあげたもののなかからお宅の考えにもっとも近いもの1つに○印をつけてください。

- 1 貯蓄は必要だから、相当無理してでも貯蓄をしなければならぬ
- 2 貯蓄のためには、ある程度やりくりをするのやむをえない
- 3 貯蓄は余裕があればした方がよい
- 4 貯蓄するよりは毎日の生活を楽しむことを考えたい

問10 お宅では貯蓄金額としてどのくらいを目ざしていますか。少なくとも将来これくらいの額の貯蓄は持たせたいとお考えになっている金額を記入ください。

貯蓄目標額は 

億	千	百	十	万

 万円

問11 お宅では、今後貯蓄をふやす場合、つぎの種類のうち、どれを選びますか。ありましたらいくつでもつけ、こたえから○印をつけてください。またそのうち、もっとも力を入れないとお考えになっているもの1つに◎印をつけてください。財形貯蓄および信託組合商品(1-11)に記入することなく、それぞれ12および13に記入してください。

- 1 郵便貯蓄
- 2 銀行等の預金・積金
- 3 職場貯蓄(社内預金)
- 4 金銭信託・貸付信託(ヒックを含む)
- 5 生命保険・簡易保険や長期損害保険(ただし掛け捨ての保険は除く)
- 6 郵便年金・個人年金信託・年金保険、厚生年金・国民年金・公務員共済などの公的年金は除く)
- 7 国債・地方債(都道府県市債等)
- 8 割引金融債・利付金融債(ワイドを含む)
- 9 社債(転換社債を含む)、公社・公団・公庫債等その他債券
- 10 株式(従業員持株制度による株式を含む)
- 11 投資信託(ジャンボ、中期国債ファンド、利金ファンドを含む)
- 12 財形貯蓄(財形年金貯蓄を含む)
- 13 信託組合商品(国債定期口座など)
- 14 その他、具体的に記入ください

問11-1 その◎印をつけられた種類をお決めになった理由は何でしょうか。つぎのうちあてはまるもの1つに○印をつけてください。

- 1 利回りがよく得だから
- 2 将来の値上がりを楽しみたから
- 3 元金が保証されているから
- 4 信用できて安心だから
- 5 現金にかえやすいから

- 6 少額でも預け入れ、引き出しが自由できるから
- 7 その他、具体的に記入ください

問12 お宅では家計費の節約についてどのようにお考えになりますか。つぎのうちお宅の考えにもっとも近いものに○印をつけてください。

- 1 引続き節約はつとめる
- 2 これまでは節約してはなかつたが、今後は節約はつとめるつもり
- 3 これまでは節約はつとめてきたが、今後はこれまではと節約しない
- 4 これまでも節約はしなかつたが、今後は節約するつもりはない

問12-1 その理由として、もっとも強くお考えになっているものはつぎのうちどれでしょうか。いずれか1つに○印をつけてください。

- 1 家計のやりくりがますます厳しくなってきたから
- 2 物価が先行き上昇するかもしれないから
- 3 今後は収入の増加が望めないから
- 4 公共料金支出や教育費などがふえているから

問12-2 お宅でしている節約はどの程度かと思えますか。つぎのうちあてはまるもの1つに○印をつけてください。

- 1 まだ節約の余地があると思う
- 2 節約が厳格に行きついていると思う

問12-3 お宅ではどのような方法で節約はつとめていますか。つぎのなかからあてはまるもの1つにつき○印をつけてください。また、◎印をおいているもの1つに◎印をつけてください。

- 1 食費を切り詰めている
- 2 家賃の安いところへかましているなど住居費を節約している
- 3 電気・ガス・水道・石油の使用量をへらしている
- 4 衣料品、贈物はなるべく手持ちのものでもまにあわせるとか購入をおさえている
- 5 テレビ・家具など耐久消費財の買い換えを手控えている
- 6 本代とか映画など娯楽費を節約している
- 7 マイカーを手放すとか購入を見合わせている
- 8 旅行・レジャー・外食などの回数をへらしている
- 9 夫や妻のこづかいをへらしている
- 10 冠婚葬祭費などの交際費の支出をおさえている
- 11 その他、具体的に記入ください

問12-4 その理由として、もっとも強くお考えになっているものはつぎのうちどれでしょうか。いずれか1つに○印をつけてください。

- 1 家計のやりくりが楽になったから
- 2 物価が落ち着いていると思うから
- 3 今後は収入の増加が望めるから
- 4 毎日の生活を充実させたいから

問13 お宅では将来のための生活設計を立てていますか。

- 1 立てている
- 2 現在は立てていないが、これから立てるつもり
- 3 現在立てていないし、これからも立てるつもりはない

問13-1 お宅の生活設計は何年くらい先までを考えて立てていますか。

- 1 1～2年先まで
- 2 3～5年先まで
- 3 10年程度先まで
- 4 20年程度先まで
- 5 それ以上先まで

問13-2 生活設計のねらいとしてつぎのなかからあてはまるもの2つに○印をつけてください。

- 1 収入に応じた無理のない生活が送れる
- 2 大きなお金の出入りがわかる
- 3 いくら貯蓄したらよいかかわかる
- 4 生活の無駄が省ける
- 5 老後生活の見通しがつく
- 6 その他 具体的に記入ください

世帯主の方の年齢が60才未満のお宅は問14、60才以上のお宅は問15にお答えください。問16からは全部の方がお答えください。

問14 お宅では老後の家計(暮らし)についてどのようにお考えになっていますか。(世帯主の方の年齢が60才未満のお宅のみ)。

- 1 心配していない
- 2 不安がないわけではないが、それほど心配していない
- 3 どうなるか心配である
- 4 非常に心配である

問14-1 その理由としてつぎのなかからいくつでも選んで○印をつけてください。

- 1 貯蓄があるから
- 2 生活がおひやかされるほど物価が上昇するとは思わないから
- 3 年金(公的年金、恩給、企業年金を含む)があるから
- 4 退職一時金があるから
- 5 現在の仕事を続けられるとか再就職などの見込みがあるから
- 6 アパート経営等不動産収入が見込めるから
- 7 子ども等家族からの援助が期待できるから

8 その他 具体的に記入ください

問14-2 その理由としてつぎのなかからいくつでも選んで○印をつけてください。

- 1 十分な貯蓄がないから
- 2 物価の上昇で生活がおひやかされると思うから
- 3 年金(公的年金、恩給、企業年金を含む)が十分でないから
- 4 退職一時金が十分でないから
- 5 現在の仕事を続けられないとか再就職などの見込みがないから
- 6 子ども等家族からの援助が期待できそうもないから
- 7 その他 具体的に記入ください

問15 お宅ではいまの家計についてどのようにお考えになっていますか。(世帯主の方の年齢が60才以上のお宅のみ)

- 1 不安なく暮らしている
- 2 不安がないわけではないが、それほど心配しないで暮らしている
- 3 生活が苦しく不安である
- 4 生活が非常に苦しい

問15-1 現在のお宅の家計はつぎのどの収入によっていますか、つぎのなかからいくつでも選んで○印をつけてください。

またそのうちもっとも大きいと思われるもの1つに◎印をつけてください。

- 1 利息・配当所得、個人年金
- 2 貯蓄のとりくすし
- 3 公的年金、恩給、企業年金
- 4 家賃の賃貸等の不動産収入
- 5 現在の仕事からの収入
- 6 子ども等家族からの援助
- 7 国や市町村などからの公的援助
- 8 その他 具体的に記入ください

問16 お宅には借入金(営業・営業上の借入金は含みません。このほか、1～2か月で返済されるクレジットカードの利用やツケ買いの未払分も含みません。ただし、月賦の本払金は含みます)がありますか。

- 1 ある
- 2 ない → 借入金がない方は問17へ進んでください。

(ある方のみ)

問16-1 どのような種類の借入金ですか。あてはまるもの1つに○印をつけてください。

- 1 金融機関(生・損保、公庫、住宅金融会社、郵便局なども含む)からの借入金
- 2 自動車、家電などの販売会社、百貨店・量販

店などからの借入金(月賦本払金)

- 3 信販、クレジットカード会社などからの借入金
- 4 貸金業者(サラ金、質屋など)からの借入金
- 5 勤め先からの借入金
- 6 知人、親せきからの借入金
- 7 その他 具体的に記入ください

5 旅行やレジャー関係の支出をへらさざるをえない

6 交際費、教養娯楽費の支出をへらさざるをえない

7 家計への影響はほとんどない

8 その他 具体的に記入ください

問16-2 現在の借入金の残高はだいたい全部でどのくらいありますか。

借入金	万円
そのうち土地・建物関係の借入金	万円

問16-3 借入金の主な使途は何ですか。つぎのうち、あてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。またそのうちもっとも大きいもの1つに◎印をつけてください。

- 1 病气や不時の災害のため
- 2 子どもの教育費として
- 3 子どもの結婚資金として
- 4 土地・建物の買い入れや新増改修・修理のため
- 5 家具・家電製品などの購入のため(月賦払を含む)
- 6 自動車購入のため(月賦払を含む)
- 7 旅行など余暇を楽しむため
- 8 日常の生活資金のため
- 9 その他 具体的に記入ください

問16-4 この1年くらいの間に借入金をとれくらい返済されましたか。

返済額	万円
そのうち土地・建物など住宅ローンの返済額	万円

問16-5 借入金返済の影響をどのようにうけていますか。つぎのなかからあてはまるもの1つに○印をつけてください。またそのうちもっとも影響の大きいもの1つに◎印をつけてください。

- 1 貯蓄をへらさざるをえない
- 2 食料費、衣服費、光熱費等必需的支出を切りつめざるをえない
- 3 子どもの教育費を切りつめざるをえない
- 4 家電・家具等耐久消費財の購入を見送らざるをえない

問17 お宅の住居についておたずねします。お宅では現在どのような住居にお住いですか。つぎのうちあてはまるものに○印をつけてください。

- 1 自分で建築または購入した家屋・マンションを含む
- 2 その他の持家(親からの相続・贈与、親と同居など)
- 3 民間の賃貸マンション・アパート、借家
- 4 住宅都市整備公団・住宅供給公社または公営の賃貸アパート
- 5 官庁・会社の官舎・住宅
- 6 同居、借借、その他

問17-1 住居取得の予定についてどのように考えていますか。あてはまる番号に○印をつけてください。

- |                        |        |
|------------------------|--------|
| 1 1年以内に予定              | 1 新規取得 |
|                        | 2 建て換え |
|                        | 3 買い換え |
| 2 5年以内に予定              | 1 新規取得 |
|                        | 2 建て換え |
|                        | 3 買い換え |
| 3 いつにみるかはっきりしないか予定している | 1 新規取得 |
|                        | 2 建て換え |
|                        | 3 買い換え |
| 4 いまのところ考えていない         |        |

問17-2 住居取得のための必要な資金の総額はどのくらいと考えていますか。買い換えの場合は新旧物件の差額ではなく、新規取得物件の総額額をご記入ください。また資金計画はどのように考えていますか。

(必要資金総額)	万円
(そのための資金計画は)	
自己資金で	万円
借入金で	万円

問17-3 お宅では世帯主の方が何歳くらいの時に住居を取得する予定ですか。あるいはすでに取得しましたか。つぎのなかからあてはまるものを、印をつけてください。

- |                            |                                     |
|----------------------------|-------------------------------------|
| これから住居を取得する予定の場合           | すでに住居を取得している場合（親からの相続・贈与による場合も含みます） |
| 1 20才未満                    | 1 20才未満                             |
| 2 20才代                     | 2 20才代                              |
| 3 30才代                     | 3 30才代                              |
| 4 40才代                     | 4 40才代                              |
| 5 50才代                     | 5 50才代                              |
| 6 60才以上                    | 6 60才以上                             |
| 7 親からの相続等によるので、いつになるかわからない |                                     |
| 8 予定なし                     |                                     |

問18 お宅では家計簿をおつけになられていますか。

- 1 つけている  
2 つけたり、つけない  
3 つけていない
- 問18-1 具体的には、どのようなつけ方をしていますか。  
1 費目ごとに予算を立て、それと毎月の支出額をつきあわせている  
2 費目別として見ごとにとりまとめてつけている  
3 毎日の収入と支出だけをつけている  
4 その他、具体的に記入ください

問18-2 家計簿につけた記録をその後のお宅の生活設計に役立てていますか。

- 1 いる  
2 いない

問18-3 とのよ理由でおつけにならないのですか。主なものを1つに「印をつけてください」。

- 1 ある程度の支出整理はしているから  
2 つける暇がないから  
3 めんどいから  
4 つけていてもお金のいる時にはいるのだから  
5 つけ方がわからないから  
6 その他、具体的に記入ください

問19 子どもに対しお金を大切にするしつけをしたり、貯蓄意識をもたせることは大切であるといわれていますが、お宅のお子さんのこつかいについてつぎの間にお答えください。お子さんの該当する年齢区分の欄にそれぞれご記入ください。

お子さんへ渡すこつかいの額は月にたいたいいくらくらいいですか。なお、区分ごとにお子さんの有無を「印」で表示してください。

(1)幼稚園児	1 いる→ 2 いない	円
(2)小学生(1-2年)	1 いる→ 2 いない	円
(3)小学生(3-4年)	1 いる→ 2 いない	円
(4)小学生(5-6年)	1 いる→ 2 いない	円
(5)中学生	1 いる→ 2 いない	円
(6)高校生	1 いる→ 2 いない	円

問19-1 こつかいの渡し方はどのようにしていますか。

- (1)幼稚園児 1 月または週にまとめて渡している  
2 必要のつと渡している
- (2)小学生 1 月または週にまとめて渡している  
2 必要のつと渡している
- (3)中学生 1 月または週にまとめて渡している  
2 必要のつと渡している
- (4)高校生 1 月または週にまとめて渡している  
2 必要のつと渡している

問19-2 お子さんにこつかい帳をつけさせていますか。

- (1)幼稚園児 1 つけさせている  
2 つけさせていない
- (2)小学生 1 つけさせている  
2 つけさせていない
- (3)中学生 1 つけさせている  
2 つけさせていない
- (4)高校生 1 つけさせている  
2 つけさせていない

問19-3 お子さんにこつかいから貯蓄(ことも銀行等を含む)をさせていますか。

- (1)幼稚園児 1 貯蓄させている  
2 貯蓄させていない
- (2)小学生 1 貯蓄させている  
2 貯蓄させていない
- (3)中学生 1 貯蓄させている  
2 貯蓄させていない
- (4)高校生 1 貯蓄させている  
2 貯蓄させていない

問20 般に利用されている貯蓄の利息・配当に対する非課税制度としては、①銀行等の預貯金や公債などを対象とする「マル優制度」(少額貯蓄非課税制度)、②国債と地方債に限りマル優とは別枠で認められている「特別マル優制度」(少額公債特別非課税制度)、③郵便貯金の3つがあります。お宅ではこれらの貯蓄非課税制度があることをご存知ですか。それぞれの制度ごとにお答えください。

- (1)マル優制度(限度枠1人当り300万円)  
1 知っている 2 知らない

②特別マル優制度(限度枠1人当り300万円)  
1 知っている 2 知らない

③郵便貯金(限度枠1人当り300万円)  
1 知っている 2 知らない

問20-1 お宅ではご家族のとなたでらけ、こつてですが、これらの貯蓄非課税制度をそれぞれ利用になつていますか。それぞれの制度ごとにお答えください。

- ①マル優制度 ②特別マル優制度 ③郵便貯金
- 1 利用している 2 利用していない

問20-2 (それぞれご利用なさつていらっしゃる方へ)

問20-2 お宅では非課税貯蓄の限度枠をどの程度使っていますか。利用している制度のそれぞれについてあてはまるものを「印」をつけてください。

- (1)マル優制度(限度枠1人当り300万円)  
世帯主の枠 1 余裕がある 2 限度いっぱいである

問21 生活や貯蓄に関し、いくつかの意見を述べた文章があげてあります。お宅ではそれぞれについてA、B2つの意見のうち、どのようなお考えをお持ちですか。もっとも近い番号に、印をつけてください。

	2	3	4	5	
A	たい	とら	たい	B	
し	たい	ら	たい	き	
思	A	も	B	思	
り	思	い	思		
	1	2	3	4	5
A) 物価が安定していれば収入がそれほどふえなくてもよい	1	2	3	4	5
B) 物価がある程度上昇しても収入がそれ以上にふえる方がよい					
2 (A) 物価が上昇すれば、先行き不安だから貯蓄を一層ふやす	1	2	3	4	5
B) 物価が上昇すれば、早目に物を買った方が得だから、貯蓄するより消費をふやす					
3 (A) 将来のことを考えて計画的に生活すべきだ	1	2	3	4	5
B) 将来のことをいろいろ心配するより、現在の生活を楽しく暮らすべきだ					
4 (A) 公的年金だけにたよれないので、老後に備えて貯蓄をふやす必要がある	1	2	3	4	5
B) 公的年金があるため老後に備えてとくに貯蓄をふやす必要はない					
5 (A) 借金(クレジットカードの利用やサラ金を含む)はいつか返さなくてはならないのだから、なるべく借りないのがよい	1	2	3	4	5
B) 借金は便利なものだから、大いに活用してもよい					

【付 問】

ここで少しお宅のことについておたずねします。ご記入くださいますことがらはすべて合計した統計数字として表わしますので、お宅のことが外に洩れたりすることはありませんからありのままをお答えください。

問1 ご自分も含めてお宅のご家族は何人ですか

- 1 2人
- 2 3人
- 3 4人
- 4 5人
- 5 6人
- 6 7人以上

問2 世帯主の方の年齢をうかがいます。満年齢であ  
てはまるところに○印をつけてください。

- 1 20才代
- 2 30才代
- 3 40才代
- 4 50才代
- 5 60才代
- 6 70才以上

問3 お宅の家族全体の最近1年間における手取り(税  
引き後)収入金額は、つぎのとれにあたりませ  
るか。あてはまるところに○印をつけてください。

- 1 150万円未満
- 2 150万円～200万円未満
- 3 200万円～250万円未満
- 4 250万円～300万円未満
- 5 300万円～350万円未満
- 6 350万円～400万円未満
- 7 400万円～450万円未満
- 8 450万円～500万円未満
- 9 500万円～700万円未満
- 10 700万円～1,000万円未満
- 11 1,000万円～1,500万円未満
- 12 1,500万円～2,000万円未満
- 13 2,000万円以上

問4 最後はお宅の世帯主の方のご職業をなるべく具体的に記入ください。

- 1 農林漁業
- 2 自営商工・サービス業
- 3 事務系の勤め人
- 4 労務系の勤め人
- 5 管理職
- 6 自由業
- 7 その他